

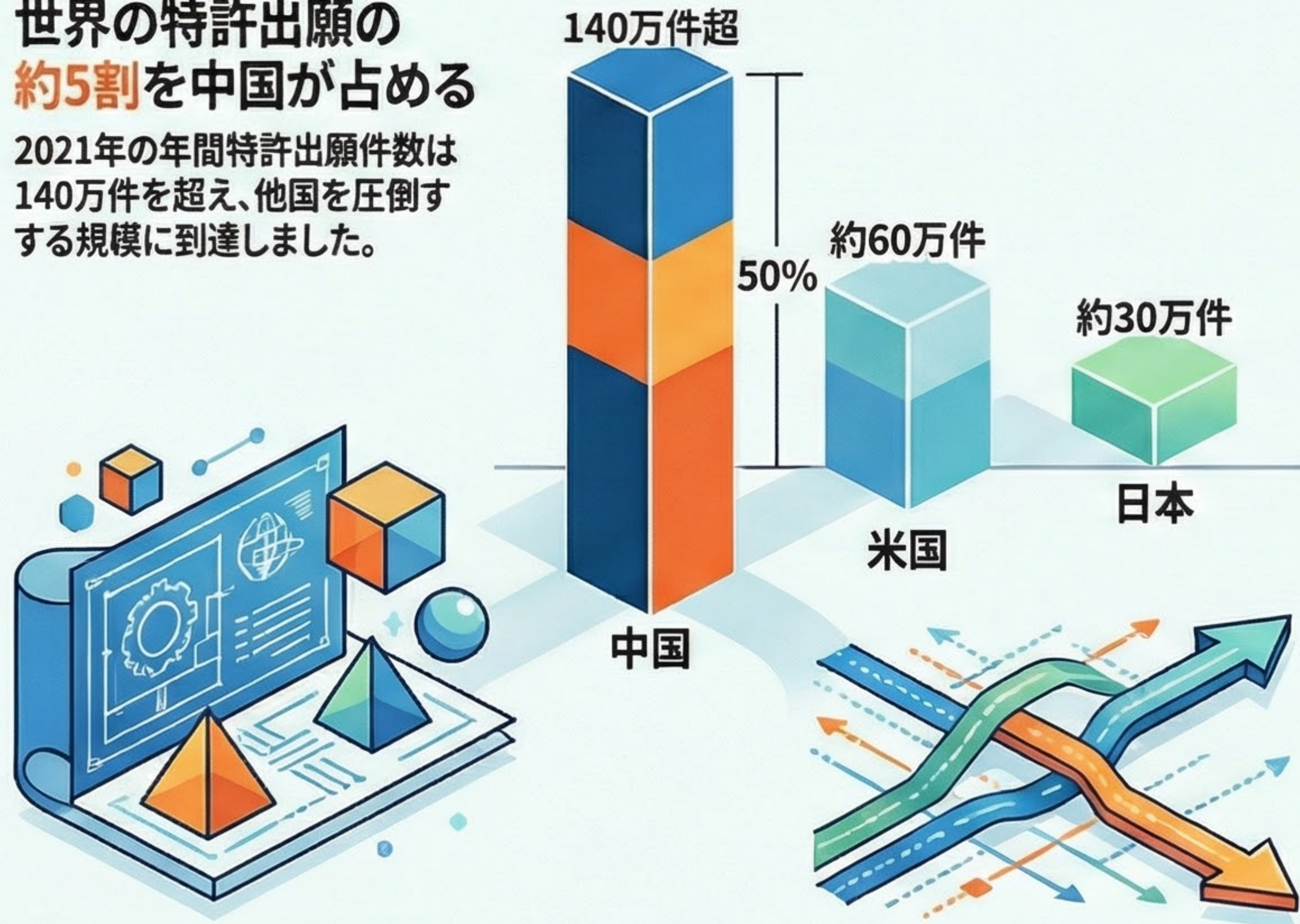
中国知財戦略の変貌：模倣から「知財強国」へのパラダイムシフト

中国の知的財産環境が「模倣・大量出願」の段階から、国家主導の「質の向上・厳格な権利保護」の段階へ劇的に移行している現状を伝える。

量的拡大から「質」と「活用」の時代へ

世界の特許出願の 約5割を中国が占める

2021年の年間特許出願件数は140万件を超え、他国を圧倒する規模に到達しました。



「知財強国建設綱要 (2021-2035)」の策定

2025年までに「高価値特許」の保有件数を大幅に増加させる目標が掲げられています。

独自メカニズム 「專利導航(特許ナビ)」

特許データを分析し、産業政策や企業の開発戦略を最適化する仕組みが国家標準化されています。

厳格化する権利行使と保護メカニズム

過去最高額 「約6.4億元」の賠償判決

吉利汽車対威馬汽車の事件で、営業秘密侵害に対し約135億円(2024年時点)の賠償が命じられました。



司法と行政を組み合わせた 「4つの救済ルート」



故意の侵害には 「最大5倍」の懲罰的賠償

近年の法改正により、悪質な権利侵害に対して極めて懲力な抑止力が導入されました。